

オンラインの「ケアeスポーツ」で 意欲を刺激して生き生きとした日々を

2

2019年10月にオープンした「あみーご倶楽部小牧」は、地域に根ざした健康福祉事業を展開する(株)センチュリークリエイティブ初の介護付き有料老人ホーム。欧州カントリーの別荘地を思わせるシックで洗練された空間が特徴です。

居室は30室あり、5種類の中から好みの壁紙を選ぶことが可能。車椅子でも安心して入浴できる機械浴など入居者の状況に応じた設備を用意しています。「日常生活支援や機能訓練などの



優雅で落ち着いた雰囲気のリビング

特定施設入居者生活介護サービスを提供するのはもちろん、空間づくりにも力を注いでいます」と代表取締役の湯浅さんは話します。

おいしい食事、日替わりのレクリエーション、健康状態に応じた安心安全のサポートは、「あみーご倶楽部」として当たり前のこと。「新しいことにチャレンジしてモチベーションを高め、生き生きと活躍してほしい」という思いのもと、意欲や向上心を刺激する取り組みも行っています。



住環境に対する要望にも対応

そのひとつが、オンラインを活用した「ケアeスポーツ」です。2019年11月11日には「あみーご倶楽部杯」と題して大会を開催。系列

施設の代表者が出場し、タブレット端末を使って将棋・オセロのトーナメント戦を繰り広げました。「優勝者はトロフィーをもらって涙していました。対戦の様子を大画面で観ていた入居者のみなさんも応援に熱が入り、予想以上の大盛況でしたな」と湯浅さん。ケアeスポーツを通じて、悔しさ、喜び、感動などさまざまな感情が湧き上がるのが、手にとるようになかったと言います。「年を取ると、喜怒哀楽を出す場面が少なくなるもの。承認欲求や次こそは勝ちたいという闘争心を持つことが、本



真剣に対戦に挑む入居者

当の生きがいではないでしょうか。ケアeスポーツが、そのきっかけになればと考えています」とのこと。

オンラインで知らない土地の人と対決し、そこで友情が生まれたりなど、「ケアeスポーツ」ならコミュニケーションの範囲が外へ広がります。

また、脳の活性化につながるのも大きなポイントです。「将来的には、あみーご倶楽部だけでなく、いろいろな介護施設が会場として優勝を競う大会を開催できればと思っています。高齢者のやりがいやつながらりづくりの輪を全国に広げていきたいです」。



センチュリー
クリエイティブ
代表取締役
湯浅幹之さん



トロフィーを手に喜ぶ優勝者